

【八丁堀だより】

◎ 浄土真宗基礎講座(兼超覚寺女子会定例会)：14時～15時
毎月原則28日(御開山 親鸞聖人の御命日)に開催しています。

今後の開催日⇒ 10/28(金)、12/28(水)、1/27(土)

11月は報恩講後なので休会します。

正信偈の読経の練習と、その内容の解説です。どなたさまもお越しください。

次回10/28は**仏具のお磨き**をしますので、よろしくお願いたします。

◎ 死別の分ちあいの集い(予約・参加費不要)：13時～15時

・伴侶：毎月第1土曜日(11/5、12/3、1/7、2/4、3/4)

・自死：毎月最終土曜日(10/29、11/26、12/31、1/28)

当事者の方々と僧侶(超覚寺住職)との分かちあいの集いです。

◎ ほっ！と相談：毎月第2火曜日 13時～16時

こちらは、精神対話士(メンタルケアの専門家)との1対1の対話形式です。日頃心の中に溜め込んでいるモヤモヤした気持ちを吐き出して、ほっとする時間を持ちませんか？

◇ 報告・連絡・“借”談

広島カープファンの皆さま、おめでとうございます。25年振りのセ・リーグ優勝!! しかも二位巨人に17.5ゲーム差をつけてのブッチギリ!! 一年前は0.5ゲーム差でクライマックスシリーズ(CS)に出られなかったことを嘆いていたのに、今年は「CSなんて無駄な制度だ」なんてワーワー言っている…。状況次第で見方も180度変わってしまう、まさに己の欲深さを自覚した次第であります。

先日、超カープファンの御門徒さんと閑談中、「CSなんて無くして、すぐに日本シリーズを始めれば良いっすよねえ」って話したら、「いやいや、一試合でも多くカープの試合が観られるんだから有難いことですよ」って。そういう視点は全く持っていないなかつたので、久々に目からウロコが落ちる思いでした。

この寺報が届く頃にはCSの結果も出ているでしょうが、どっちに転んでも今年は、私には忘れられない年になったのは間違いありません。

発行人：超覚寺住職 釈隆恩(和田隆彦) (*-*)人i~



林鷲凶 超覚寺
憶西院

RIN-0H-ZAN OKU-ZEI-IN CHOH-KAKU-JI
(since 仏暦2002, 西暦1619, 元和5)
〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : http://www.namuamidabutsu.com

超覚寺 秋&冬の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがたく存じます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(一)>

◎ 2016年 報恩講法要

- 11月3日 (木・祝) 10時～ 勤行：住職
- 10時半～ 法話：安藤聖一師
- 12時～ 御齋(おとき)
- 13時～ 市内住職出仕勤行
- 14時～ 法話：安藤聖一師



全国で活躍されている浄土真宗本願寺派僧侶の安藤聖一さんが「親鸞聖人御絵伝」を講演します。親鸞聖人の出家と苦悩、法然上人との出会い、御流罪、坂東での御家族との別れ等を、琵琶の弾き語りも交えて劇的に語ってくださいます。

◎ 帰敬式 (ききょうしき)

- 12月8日 (木) 13時～ 勤行・帰敬式

帰敬式とは、仏さまの教えを大切に生きていくことを誓い、正式な法名をいただく「お髪剃り」の儀式です。御家族が先に受式された方や合同墓へ生前予約された方など、自分も受式したいという方のために、お釈迦様が悟りを開いた日に帰敬式を執り行います。法名は住職と相談しながら御自身で決めていただきますので、受式を希望される方は是非お早めに御連絡ください。

◎ 東本願寺お煤払い奉仕団

- 12月19日 (月) 11時～ 21日 (水) 16時頃

本堂などにたった1年分のホコリを竹の棒と大きな団扇を使って外へ扇ぎ出し、新しい年を迎える準備を行います。これまで東本願寺を守ってこられた人々の願いにふれ、全国のお同行と共に自身の生活の在り方を確かめます。

今年には東本願寺境内の同朋会館に二泊し、講義・座談・諸殿拝観・東本願寺阿弥陀堂・御影堂の清掃奉仕等で過ごします。全国各地の真宗門徒の方々との語らいうちも楽しいものです。寒い時期ではありますが、年に一回しかない機会。東本願寺への冥加金(食事代込み)は**15,000円**です。

参加者募集中ですので、関心のある方は是非お早めにご連絡ください。

◎ 超覚寺門徒 2016年 総追弔会 兼 永代経法要

- 12月28日 (水) 14時～14時30分 勤行・法話

今年最後の法要です。阿弥陀様やご先祖様に、この1年間を無事に過ごせたことを感謝すると共に、その仏徳を讃えます。法要後は茶話会を開きますので、お互いの想いを共有いたしましょう。有縁の方々はどうぞお参りください。終了後に仏具のお磨きをします。御都合の良い方は残ってお手伝い頂ければと思います。ワイワイしゃべりながら作業するのは楽しいものです。

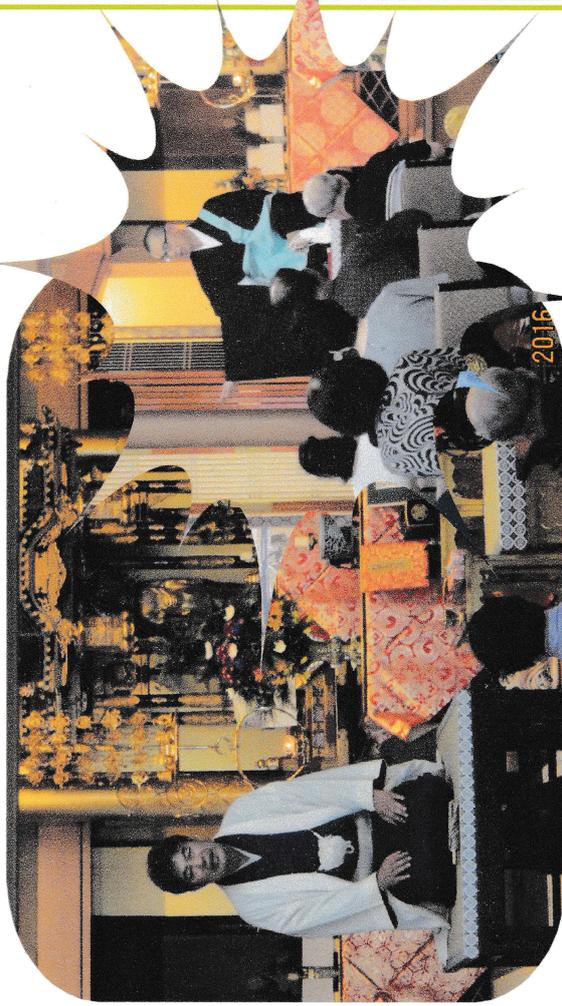
◎ 2017年修正会法要

- 1月1日 (日・祝) 6時～、8時～、10時～、12時～、

1年の計は元旦にあり。「今年もお念仏の道を歩ませていただきます」と阿弥陀様に御挨拶申し上げましょう。住職が約10分ほどの勤行・法話を勤めます。お墓参りの際に、どうぞ本堂までお参りください。

◇ “寺”後報告： 秋季彼岸会法要 + 八丁堀寄席

9月22日(木・祝)雨天の中、35名の方々がお参りくださいました。全員で読経し、私の高座説教「口伝の親鸞聖人・出家得度の段」を披露後、おぜんざいを召し上がっていただきました。そして、いよいよ桂文鹿師匠の落語。今回は、古典「奈良の鹿と豆腐屋の噺」と、新作「KFC」「回転寿司のマグロ」の3本でした。落語はもちろん、マクラーの話もスゴク面白くて、涙流して笑いました。



◎ 終活講座 ～心豊かな終活を一緒に考えてみませんか～

12月8日(木) 14時～16時 行政書士 岡村奈七江氏

あなたのご自身にもしものことがあった時、大切な人に何を残したいですか？
今後について不安や悩みはありませんか？ 残しておきたいものや伝えておきたい想いを「かたち」にすることは、今だからできること。人生のたな卸しをすることで、これからの人生をより自分らしく生きる。それが「終活」です。

この度、超覚寺門徒の岡村奈七江さんを招き、終活のあれこれをお教えいただけます。どうぞ万障お繰り合わせの上でご参加ください。

☆ 親鸞聖人～人間であることに深く悲しみ苦悩し続けた人～

今から約800年前、平安貴族の政治が終わりを告げ、武士の時代を迎えた鎌倉という時代は、戦乱・疫病・飢饉が続いていました。親鸞聖人は、そんな困難な時代に生まれ、幼い時に両親と別れ、9歳で出家し、比叡山の修行に励みます。その修行とは煩悩を断って悟りを得るというものでした。しかし20年という長い間厳しい修行を積んでも、それを成し遂げることはできませんでした。どれだけ修行しても煩悩が湧き起こってくるのです。本当の救いとは何か、親鸞聖人は苦しみました。

苦悶の日々は、やがて法然上人との出会いを促します。「煩惱を持ったままでよい。ただ念仏して阿弥陀仏に助けられなさい」という教えに出遇うのです。煩惱の身が大切だとは思えない親鸞聖人に、法然上人は「念仏を称えれば、阿弥陀仏はそのままのあなたを救ってくださるのです」と語りかけます。縁があれば悪い心が起こり、互いに傷つけあうことしか生きられないのが私たち人間である、そのような人間存在を平等に阿弥陀仏は悲しみ、だからこそ救われてほしいと願っている。あなた自身の煩惱の身を通してその仏の心に出遇って生きなさい、と。この教えに出遇った時の親鸞聖人のよこごひは、「たとえ法然上人にだまされて念仏して地獄におちたとしても、少しも後悔はいたしません」と『歎異抄』に伝えられています。一方、念仏の教えは、既成仏教界から危険視され、ついには朝廷から法然上人と門弟に厳しい弾圧が加えられました。中には、死罪になった者もあり、親鸞聖人も僧籍を剥奪され、越後(新潟県)へ流罪となったのです。流罪の地・越後で数年間を過ごした後、親鸞聖人は家族とともに、関東の地に移ります。越後、関東での20数年間は、汗と土にまみれて懸命に生きる人々と暮らす日々でした。厳しい生活を共にしつつ、どんな人もこの身の尊さと厳粛さを見いだして生きていく。これが、親鸞聖人が生涯をかけて求め続けていった念仏の道でした。親鸞聖人は、晩年に京都に帰りました。その後、多くの著作、手紙などを執筆しました。その力強い筆跡は、今日も東本願寺に伝えられています。

(東本願寺真宗会館情報誌より加筆転載)